

プロ奏者との共演の中で音楽を創り学ぶアンサンブルセミナー

# マンドリン

MMC Mandolin Music Camp

# ミュージック キャンプ 2026

## MMC&JSYMO ジョイントセミナー 受講生募集!!



橋 直貴



ゲスト講師  
山下 颯



柴田 高明



佐古 季暢子



堀 雅貴



吉住 和倫



内山 和重



年齢制限無し の合奏教育プログラム

2026/7/19(日)~7/20(月祝)

募集締切 6/30(火)

セミナー会場：清水テルサ (静岡市東部勤労者福祉センター)

〒424-0823 静岡県静岡市清水区島崎町 223

主催：ジャパン・スーパーユース・マンドリンオーケストラ

助成支援：NPO 法人イエロー・エンジェル



Mandolin Music Camp



Japan Super Youth  
Mandolin Orchestra

## ● MMC & JSYMO ジョイントセミナー2026 スケジュール

➤ 6月27日(土) ※ご都合が付かない方、6/27(土)以降に申込みの方には録画対応致します。

9:30 - 12:00 zoomを使ったオンラインによるスコアリーディング&ガイダンス

➤ 7月19日(日)

10:30 ~ 受付開始 (清水テルサ 5階リハーサル室)

11:00 - 12:00 特別講座 教えます! 「歌う」演奏の基本

13:00 - 15:30 合奏セミナー

15:45 - 17:00 分奏

17:15 - 18:15 パート練習

19:15 - 20:40 合奏セミナー



➤ 7月20日(月祝)

9:00 ~ 受付開始 (清水テルサ 5階リハーサル室)

9:20 - 11:50 合奏セミナー

12:50 - 14:10 分奏

14:30 - 15:30 パート練習

15:45 - 17:30 合奏セミナー (撮影予定)

※タイムテーブル詳細は変更する場合があります。



### 【スコアリーディング】

講師による、スコアリーディングセミナーです。楽譜の読み方の基本、および解釈のポイントについてお話しします。また、7月に開催するセミナーについてのガイダンスも合わせて行います。

### 【合奏セミナー】

講師陣が合奏課題曲2曲を対象にアンサンブル、曲作り等を指導します。

合奏課題曲は10月に開催いたしますJSYMOセミナー&コンサートと共通になります。

### 【分奏】

合奏団を数グループに分割し、指揮者のいないアンサンブル形式で練習します。

他パートを聴き、注意を向けることにより、より作品全体への理解を深めます。

### 【パート練習】

課題曲を対象に、各パート内の奏法のポイントなどを指導します。パート内の音楽の意味をより深く理解します。

### 【撮影】

セミナーの成果を最終日最後に撮影します。動画はYouTubeに投稿する予定です。



## ● 合奏課題曲 10/10(土)~12(月祝)開催のJSYMOと共通 10/12(月祝)開催のコンサートでの演奏曲目です。

白い蝶/A.アマデイ

交響曲「ジェノヴァへ捧ぐ」/U.ボッタキアリ~石村隆行編

講師も演奏に参加します。

※MMC & JSYMO ジョイントセミナーでは、合奏課題曲のみ練習します。

室内楽課題曲は扱いません。



## ● 受講生 定員 40 名程度(予定) [18 歳未満の場合、保護者の同意書が必要]

### 受講形態

どなたでもご参加いただけます。録音課題提出の必要もありません。

2 日間の参加を想定していますが、単日参加も可能です。

合奏セミナーのパート分けは、募集時に希望を確認の上、講師により受講パートを決定し、追って連絡します。

(必ずしも希望するパートを受講できるとは限りません)

## ● 聴講生 定員 10 名程度(予定)

### 参加形態

期間中全てのプログラムの聴講が可能。

パート練習や分奏は、会場の都合により聴講できる人数を制限する場合があります。

## ● 受講料

### 受講生

・ 35 歳以下 (2026/1/1 時点の年齢) 24,000 円 (単日参加 13,000 円) ・ 36 歳以上 35,000 円 (単日参加 18,000 円)

※学生は3,000円割引。

### 聴講生

・ 一般 6,000 円 (単日参加 3,000 円) ・ 学生 2,000 円 (単日参加 1,000 円)

### 受講生 & 聴講生 共通

- ・ エントリーフォームからの申し込み完了後、受講料のお振込み先をメールでご連絡いたします。  
[info@youth-mandolin.org](mailto:info@youth-mandolin.org) からのメールを受信できるよう設定願います。
- ・ 7/1(水)以降にご本人の都合でキャンセルされる場合、一度入金いただいた受講料の返金はいたしかねます。
- ・ 受講生のみ、課題曲の楽譜を配布します。事務局から提供される電子データを受講生が印刷し、持参いただきます。
- ・ 受講料とは別に、課題曲のスコア購入費、交通費、宿泊費、食費が必要となります。

## ● 応募について

### 募集締切

・ 受講生 & 聴講生 共通 6 月 30 日(火)締切

### 応募方法

以下 URL、または QR コードからエントリーフォームへ。必要事項を入力してください。

<https://forms.gle/jWWVAGBfkQfsZf6C9>



### 交通宿泊手配について

交通・宿泊手段につきまして、各自手配となります。当事務局はホテル等の手配は行いませんので、ご了承ください。

### その他

- ・ 本要項に記載のない事項は、追ってホームページに掲載します。
- ・ ホームページの掲載情報は、随時公式 X (旧 Twitter) に掲載します。  
情報取得を希望される方は、アカウント (@JSY\_mandolin) をフォローしてください。
- ・ 事務局からの連絡事項は、エントリーフォームに入力いただいたアドレス宛に事務局 (アドレス: [info@youth-mandolin.org](mailto:info@youth-mandolin.org)) からメール送信します。  
受信選択機能等を設定されている場合は、上記アドレスからのメールを受信できるよう設定をお願いいたします。
- ・ 開催期間中に写真、動画撮影を行い、SNS 等に使用いたします。

10 月 10 日(土)~12 日(月祝)に、35 歳以下の方を対象とした ジャパン・スーパーユース・マンドリン オーケストラ セミナー&コンサート を開催いたします。同パンフレットもご確認の上、参加をご検討ください。(聴講およびコンサート来場に年齢制限はありません)

## 主宰・音楽監督・指揮 橘 直貴 (たちばな なおたか)

1992年桐朋学園音楽大学をホルン専攻で卒業。研究科を経て、同大学付属機関指揮教室に在籍。この間、指揮を岡部守弘、紙谷一衛、黒岩英臣の各氏に師事。大学卒業後、ウィーン国立音大助教授である湯浅勇治氏の指揮セミナーに参加、師事する。99、01年ウィーン・マスタークラス指揮マスターコースにてサルヴァドール・マス・コンデ氏に、2000、03、04、06年イタリアのムジカ・リヴァ夏期国際アカデミー指揮マスターコースにて、イザーク・カラブチエフスキー氏に、また01年ドイツのシュレスヴィッヒ・ホルシュタイン音楽祭指揮マスターコースにてヨルマ・パヌラ氏に師事。01年第47回ザンソン国際指揮者コンクール・ファイナリストならびに聴衆賞受賞。07年バルトーク国際オペラ指揮者コンクールにて優勝。クルージュ＝ナボカ・ルーマニア国立歌劇場、スロヴァキア国立コシツェ歌劇場、またブルガリア・ブルガス国立歌劇場に出演。これまでに、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、サンクト・ペテルブルグ・フィルハーモニー、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京室内管弦楽団、札幌交響楽団、仙台フィル、広島交響楽団、関西フィル他、内外のオーケストラと共演。2009年より東京室内管弦楽団のアドヴァイザー兼プリンシパルコンダクターとして、コンセル・エクラン福岡の音楽監督として活躍。ヴィオラ・ダ・ガンバを平尾雅子氏に師事しており、古典的アプローチにも積極的に取り組んでいる。

<http://www.naotakatachibana.com/>

## マンドリン属講師 山下 顕 (やました あきら) 【ゲスト講師】

1966年生、浜松市出身。上智大学入学後マンドリンクラブに入部。4年次にはコンサートマスターを務める。マンドリンを久保田孝氏、クラシックギターを中林伸哉氏に師事。現在、山下マンドリン教室主宰。NHK文化センター、浜松市立高校・西遠女子学園・袋井高校マンドリン部講師。全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールにて浜松市立高校を幾度となく文部科学大臣賞(全国1位)に導く。地元浜松市を中心に、妻の直美と共にリサイタル、サロンコンサート、病院・老人ホームへの慰問等、積極的な演奏活動を行なっている。<https://y-mandolin.eey.jp/>

## マンドリン属講師 柴田 高明 (しばた たかあき)

ドイツ・カッセル音楽院器楽教育課程マンドリン科にて学ぶ。日本やドイツのマンドリン独奏コンクールに入賞。リサイタルを国内各地で開催し、日本とドイツでCDを発売。レパートリーは幅広く、現代音楽の分野でもロゼッタ・アートコレクティブのメンバーとしての活動の他、多くの新作初演を行なっている。ヨーロッパやアメリカの国際音楽祭、国際シンポジウムに招待参加。マンドリン専門誌「奏でる！マンドリン」では、2008年の創刊当初より2021年までマンドリンの歴史や奏法に関する記事を連載するなど、ソリスト・指導者・講演者として全国的に活躍している。大阪音楽大学ギター・マンドリン専攻非常勤講師。日本マンドリン独奏コンクール、並びに全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール各審査員。木下正紀、G.ワイホーフエン、S.トレッケルの各氏に師事。<https://www.shibatataka.com/>

## マンドリン属講師 佐古 季暢子 (さこ きょうこ)

広島生まれ。広島女学院中学校入学と同時に松重正清氏の指導の下、マンドリンクラブにてマンドラ・テノールを始める。エリザベト音楽大学マンドリン専攻第1期生として卒業。同大学院修了後、渡独。ケルン音楽舞踊大学ヴッパータル校修士課程マンドリン・ソロ科修了。2011年度中村音楽奨学生。マンドリンの表現力と奏法の新たな可能性の探究に注力しており、特に現代音楽の委嘱初演や再演に努めている。また後進の指導にもあたっており、ドイツのヒルデン市立音楽学校のマンドリン科講師を勤めた後、エリザベト音楽大学マンドリン科講師を勤めている。広島女学院中学高等学校マンドリン部コーチ。現代音楽アンサンブル rosetta メンバー。La Banda de gran Rio 主宰。日本マンドリン連盟中四国支部支部長。これまで川口雅行、C.リヒテンベルク、A.ヒンシェ、J.M.del カンボ、S.リスコの各氏に師事。<https://sakokyoko.com>

## マンドリン属講師 堀 雅貴 (ほり まさたか)

ソリストとして国内外で幅広く活動。MUSIC NEO by 株式会社サウンドテラス所属。「Mandolin Ensemble EUPHORIA」および「東京ユーフォニックマンドリンオーケストラ」を主宰し、指揮・作編曲を手がける。フィラルモニカ・マンドリーニ・アルバ・サッポロ コンサートマスター (2026-)。落合マンドリン「S-H シリーズ」監修、K-LICKS ピック「MANDOLINSPIRITS」シリーズ監修。OPTIMA 社エンドーサー。獨協大学マンドリンクラブ、明治大学附属明治中学校・高等学校マンドリン部 音楽監督。JGA 音楽祭審査員。著書に『マンドリン演奏テーマ別攻略法 Vol.1・2』(リディア電子書店)。マンドリン、指揮法、和声学を久保田孝に師事。平成23年度文化庁新進芸術家海外研修員。Juan-Carlos Muñoz にマンドリンを師事。ジャズ理論・即興演奏を大高清美に師事。第10回ラファエレ・カラーチェ国際マンドリン独奏コンクール第1位(2014)ほか受賞。<https://www.masataka-hori.com>

## ギター講師 吉住 和倫 (よしずみ かずのり)

15歳よりエレキギター、18歳よりクラシックギターを始める。2002年度札幌市民芸術祭奨励賞、2008年度札幌市民芸術祭大賞を受賞。第20回名古屋ギターコンクール第2位、第39回日本ギターコンクール第3位、他入賞多数。これまでに平野勇、佐藤洋美、藪田建吾、高田元太郎、各氏に師事。福田進一、A.ピエリ、D.ラッセル、E.フェルナンデス、R.ヴィアゾフスキー、J.ペロワ、M.ディラ、J.エトヴェシュ他多数の著名なギタリストのレッスンを受講。札幌を中心に演奏活動を展開し、フィラルモニカ・マンドリーニ・アルバ・サッポロ、北海道大学チルコロ・マンドリニスティコ「アウロラ」、小樽商科大学プレクトラムアンサンブルで後進の指導に当たっている。公益社団法人日本ギター連盟理事。北海道ギターアソシエーション代表。日本マンドリン連盟正会員。<https://www.kazunori-yoshizumi.com/>

## コントラバス講師 内山 和重 (うちやま かずしげ)

音楽家。1979年北九州生まれ。福岡教育大学を中退、東京音楽大学卒業。コントラバスを吉浦勝喜、吉田秀の両氏に師事。コントラバスの独奏パフォーマンスを積極的に行うほか、作曲、編曲も手がける。また2024年4月より東京音楽大学指揮研修講座を受講。近年は神奈川県民ホール主催公演「CxC」vol.2、コロナ禍において一人の聴き手と一人の弾き手のための百夜連続独奏会「あなたとわたしの萬音百夜」令和3年度台東区芸術文化支援制度対象企画を開催。江戸川ウインドオーケストラ常任指揮者。コントラバス教室『奏和』主宰。マンドリン界において東京ユーフォニックマンドリンオーケストラ客演首席を務めるほか、幾つかの楽団に客演、季刊誌「奏でる！マンドリン」vol.44,45に『時にはベースの話を』寄稿。<https://uchiyamakazushige.net/>